

# 【八丁堀だより】



広島カープ 2026年キッズフレーズ

浄土真宗（真宗大谷派・東本願寺）



林鷲山 超覚寺  
憶西院

RIN-O-ZAN OKU-ZEI-IN CHO-KAKU-JI

〔since 仏暦2162, 西暦1619, 元和5〕

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀 5-2

Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113

Mail : wada@namuamidabutsu.com

HP : http://www.namuamidabutsu.com

http://mytera.jp/tera/48chokakuji

①

◎ 月一報恩講：毎月28日（土日なら金）13時30分～15時  
勤行・法話・座談（お茶菓子食べつつ）の和気あいの集いです。  
各々がその時思っていることを話題にしたり、お彼岸・お盆・報恩講前  
は仏具をお磨きしたり、お寺でならは…の事をしています。

予定日：12/26(金) 1/28(水) 2/27(金) 3/27(金)

◎ 死別の分かちあいの集い：13時～15時

・夫を亡くした方：毎月第1土曜日（1/3・2/7・3/7・4/4・5/2）

・自死遺族の方：毎月最終土曜日（12/27・1/31・2/28・3/28）

当事者の方々の分かちあいの集いです。住職も参加しています。

◎ 整体・寺ヨガ・アロマハンドケア・敬老カフェ・よろず相談会

毎月開催していますが、日にちを固定していませんので、境内墓地側  
の掲示板をご覧ください。お寺までお問い合わせください。

◇ 寺院護持費（墓地管理費）について

遠方の方は、お振込もどうぞご利用ください。

【ゆうちょ銀行 15190-55770601】

他金融機関からゆうちょ銀行へ振り込まれる際は、  
次のように入力してください。

【店名】五ーハ（読み ゴイチハチ）

【店番】518（普通預金）5577060

◇ 報告・連絡・“僧”談

2026年も例年通りマツダスタジアムチケット団体予約を申し込みます。  
2025年は暑くて観戦どころではなかった日もあったので、来年は5・6  
月に集中しようかなとも考えています。個別に観たい試合がある方は、  
一緒に申し込みますので遠慮なくお申し付けください。

また、東本願寺へも10年振りに団体参拝しようと考えています。京都に  
一緒に行ってみたい方は、時期や行程などは非ご提案ください。

発行人：超覚寺住職 釈隆恩（和田隆彦）（\*ーー）人i合掌

⑥

# 超覚寺冬の法要のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、  
ありがとうございました。  
さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますので、  
ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。<(-\_-)>

## ◎ 2026年 超覚寺 修正会法要

1月1日(木・祝) 7時～、8時30分～、10時～、11時30分～、  
修正会とは、お正月に修める法会のことです。どの仏教寺院でもお勤めさ  
れます。一般にお正月といえば、「これから良い一年になるように、悪いこ  
とが起らないように」と多幸を願う行事が行われます。しかし、浄土真宗  
における修正会は、聞法の一年を歩み出す御仏事です。事の良し悪しに  
振り回される自分自身を見つめ直し、どのような出来事もお念仏の教え  
を聞くご縁とさせてください。生活を、ここから始めていきましょう。

## ◎ 2026年 超覚寺 春季彼岸会法要

3月22日(日) 13時30分～ 勤行:住職

14時～(休憩)～15時30分頃

高座説教:祖父江佳乃師(名古屋市有隣寺住職)

今年も祖父江佳乃師にご出講いただきませす。私と同じ年ですが、勝手に  
“師匠”と仰いでおります。どのようなお話をされるのか毎回楽しみです。

## ◎ 2026年 超覚寺 花まつりマルシェ

4月4日(土) 13時30分～16時頃

初めて開催した超覚寺でのマルシェ。作品の展示会やフリーマーケット  
ト(水引き、洋裁、植木、仏教雑貨、広島カープユニフォーム、…)、遺影撮  
影、写経会を行いました。かなり好評だったので2026年も開催します。  
2026年は、屋外にも場所を設けたり、カフェやマツサージやライブも予  
定しています。興味のある方は、一緒に計画していきませんか？

## ☆ 丙午(ひのえうま)

【日本の人口ピラミッドは1966(昭和41)年だけ極端に少ない】のを  
ご存知でしょうか。その年の干支は「丙午」と呼ばれ、出生数は約136万  
人。対前年比で約46万人減、翌年は約57万人増でした。「丙午の年に  
生まれた女性は性格が激しくて夫の命を縮める」といった迷信のせいで、  
その年は産み控えが多く行われました。私は1967年3月の早生まれで、  
丙午世代と同学年、小中高生の頃はそれを意識しながら過ごしていま  
した。それから60年が経ち「令和の丙午」の2026年が来ます。

しかし、干支を用いているアジアの諸外国でも丙午の迷信は存在せず、  
実は日本でも古来からある訳ではなく、1666(寛文6)年から始まった  
ことが分かっています。その年に生まれた「八百屋尾お七」は、火事で寺  
に避難している際に出会った男に恋し、「再度火事になれば恋しい男に  
会えるのではないか」と考え江戸の町に火をつけ、「天和の大火」として  
数千人の死者を出す大惨事を起こしました。一人の男に会うために16  
歳の少女が江戸を火の海にした事件は、歌舞伎などの題材になり、「丙  
午生まれ」と「恋のために町に火を放つ苛烈な気性を持つ女」とが結び  
付き、「丙午生まれの女性は気性が激しい」という俗説になりました。

江戸時代では、丙午の年に産まれた女兒は遺棄されがちで、1786年  
には「迷信を信じるな」という趣旨の文書が寺社に回るほど女兒殺し  
が普通に行われていました。それでも次の丙午の1846年生まれは、女  
性が男性より2割ほど少なかったのです。ただ、浄土真宗は他の宗派より  
も子殺しや墮胎を強く戒めているので、北陸門徒の富山や石川、安芸門  
徒の広島などで男女比のゆがみが小さかったそうです。

この俗説は「恋に貪欲」「男を食い殺す」「妻として相応しくない」という  
考えに転じ、見合い結婚において大きく不利な状況を生み出しました。特に明  
治の丙午女性はなかなか結婚が決まらず、それを苦に自死してしまう者  
が何人も出るほどでした。

昭和の丙午は、こうした過去の積み重ねにより「丙午女性は迷信によっ  
て結婚が決まりにくく、生きにくくなるだろう」という偏見のもと、産み控え  
が多くなったようです。でも、平成の時代では見合い結婚の数は激減し、  
結婚に関して大きな不利益を被ったという声はあまり聞きません。逆に受  
験等で倍率が下がり得をしたという声がありました(私は浪人したので、  
エライ目に遭いました)。でも、令和の時代は少婚化が進んでいて、  
丙午による少子化の懸念は、それほど話題にも上がりませんでした。

科学的に考えれば、丙午生まれだけに特有のパーソナリティ特性などあ  
るはずもなく、でも来年はSNSなどでその迷信が話題になる可能性はあ  
ります。我ら上の世代が気にしない姿勢でいることも大事ですが、今の時  
代でも「友引にお葬式」を気にする人は結構いますから、ちよっと心配…。

☆ お寺の掲示板大賞2025

仏教伝道協会主催のこのイベントも8回目になり、超覚寺は2枚が「仏教伝道協会賞」に入賞しました。今や全国のお寺の掲示板がインターネットで見られます。超覚寺前は人通りが多いですが、それ以上にSNSで見える方が増えています。皆さんも「#超覚寺」で検索し、ご覧ください。



【講評】慣れはしばしば慢心を生み出します。ですから、人生の中で慣れることほど怖ろしいことはありません。本願寺第八代蓮如上人は「慣れてくると人は手ですべきことを足でするようになる」と仰っておられます。所作が雑になり、敬意が失われていくことへの戒めです。常日頃から慣れていくことに慣れないように気をつけたいものです。



【講評】親に限らず、明日も生きていくと保証されている人間はこの世界に誰もいません。「一期一会」という言葉のように、二度と繰り返されることのない一つ一つの対面や対話を大切にしたいものです。

これは私の母親が末期ガンで余命3ヶ月を宣告された時に浮かんできた言葉です。母親は京都に住んでいましたがそれまでは、いつでも会えると思っていたので、会いに行こうとは思っていませんでした。余命宣告されたからは意識して会いに行きましたが、そうできなかったら、それほど会いに行くこともなく、相当後悔していたことでしょう。



◇ “寺”後報告 11月16日 『超覚寺報恩講』  
浄土真宗本願寺派長福寺の石田元師にご法話頂きました。「探偵ナイトスクープ」・「チコちゃんに叱られる」のエピソードで阿彌陀如来のお働きを例えられたのは若い感性ならではのと感心しました。

後半は元師と私、最近親を亡くした者同士ということで「今何を感じているか？」をテーマに対談しました。まだ哀しみが湧いてこないとか、元師のお父さん(私の朋友)の思い出とか、私自身がグリーフケアをされたような時間帯になりました。「亡き人はお浄土に栄転していかれたのだ」という感覚は浄土真宗ならではのでしょうか。哀しめないことをそう卑下することも無いんだなと気づけました。閉会してから自然と元師に拍手が沸いたのも、お参りの御門徒方に伝わるものがあつたからでしょう。

◎ 2026(令和8)年の法要日程予定

- ・1月1日(木・祝) 修正会 7時から計4回
- ・3月22日(日) 春季彼岸会 13時30分～
- ・4月4日(土) 花まつりマルシェ 13時30分～
- ・8月6日(木)・9日(日) 広島・長崎原爆殉難者追弔会
- ・8月14～16日(金土日) 盂蘭盆会 10時～
- ・9月19日(土) 秋季彼岸会 13時30分～
- ・10月某日 スタンダップコメディ公演
- ・11月14日(土) 報恩講 13時30分～

◎ 2026(令和8)年の御法事をご確認ください。

- ・2025(令和7)年: 1周忌 ・2024(令和6)年: 3回忌
- ・2020(令和2)年: 7回忌 ・2014(平成26)年: 13回忌
- ・2010(平成22)年: 17回忌 ・2002(平成14)年: 25回忌
- ・1994(平成6)年: 33回忌 ・1977(昭和52)年: 50回忌

ご法事は、お寺でもご自宅でもお勤めします。ご希望の日時をお早めにご連絡ください。境内墓地への通路脇の案内板にも該当者名を掲示してあります。ご連絡の無い方は、こちらからご案内させていただきます。

◇ 2026(令和8)年に慶事のある方へ

成人式を迎える方、結婚される方、出産される方へ、東本願寺からのお祝いとして、記念品(お念珠)を授与いたします。この慶事を有難い仏縁として、お仏壇や本堂の仏様へのお参りやご先祖さまへのお墓参りが報恩謝徳であること、お念珠を把持することの大切さ等が伝わればと思います。どうぞ、いつでもお申し出ください。